

タンスに眠る着物に注目したニッチビジネスで創業

会社名 和あらかると（茨城県）

着物の着付け教室の講師等をしていた事業者が、タンスに眠る着物の再活用支援サービスを思い立ち活動を開始、2014年秋に創業した。

1. 相談のきっかけ

事業者は自分の着物の処理や着付け教室での講師等を通して得た知識を基に、「タンスの着物の悩みを解決する出張サービス」を思い立ち、ひたちなか商工会議所が開催する創業スクールに参加した。

同商工会議所から当拠点へ個別支援依頼があったことから、相談に至った。

2. 課題整理・分析

- ・友人からの「タンスに眠る着物の処分方法がわからない」という相談をヒントに、まずはそうした着物を活用する際の振り分けの区分が必要と判断。
- ・着物の区分は、それぞれ、①十分に利用できる、②帯などとのアレンジにより使用できる、③シミ等で使用できない等に仕分け、各々に対応する企画・アイデアが必要と考えられた。
- ・また、①～③に対応するアイデアを有料サービスとして提供するには、販路開拓・資金調達も含めた事業計画を立案することが重要と判断された。

3. 解決策の提案

- ・相談者が提供可能なサービス内容を洗い出し、提供メニューを「着物の仕分けサービス」「着物のコーディネート提案」「簡単キモノへのリメイク」「不要着物買い取り」「買い取り着物の販売」等に拡充する提案をした。
- ・拡充されたサービスを基に創業に向けた事業計画策定を支援した。
- ・第1回創業スクール全国大会向けプレゼンテーション実施を提案した。
- ・創業に向けデザイナーの専門家派遣を実施して、広告宣伝用パンフレットの作成支援を行った。
- ・創業後の事業に小規模事業者持続化補助金を活用すべく事業計画作成を支援した。
- ・集客を支援するためインターネットマーケティング支援を実施した。

4. 成果

1. ビジネスプランの優劣を競う第1回創業スクール全国大会に出場した結果、ニッチなニーズに注目したユニークなビジネスモデルが評価され、優勝は逃したものの、3,217人の中から選ばれて最終審査に進む8人に選ばれた。
2. 下記記載のパンフレットが完成、ブラッシュアップしたビジネスプランを基に創業が実現化。
3. 小規模事業者持続化補助金に採択され、販促費用などの資金確保が実現し、事業拡大の見込みが高まる。
4. ネットを使用したマーケティング手法の助言により、新たな販路先である葬祭業者と「故人の着物の仕分け」サービスの提供に関して提携すべく、契約内容を検討中。



40年前の着物の復活
(明るい帯で華やかにコーディネート)



50年前の着物の復活
(反対色の帯で粋なコーディネート)



40年前の着物をモダンに復活
(レースえり、ビーズの帯揚げ帯締め、帯の飾りを用いて年代層に合わせてコーディネート)

